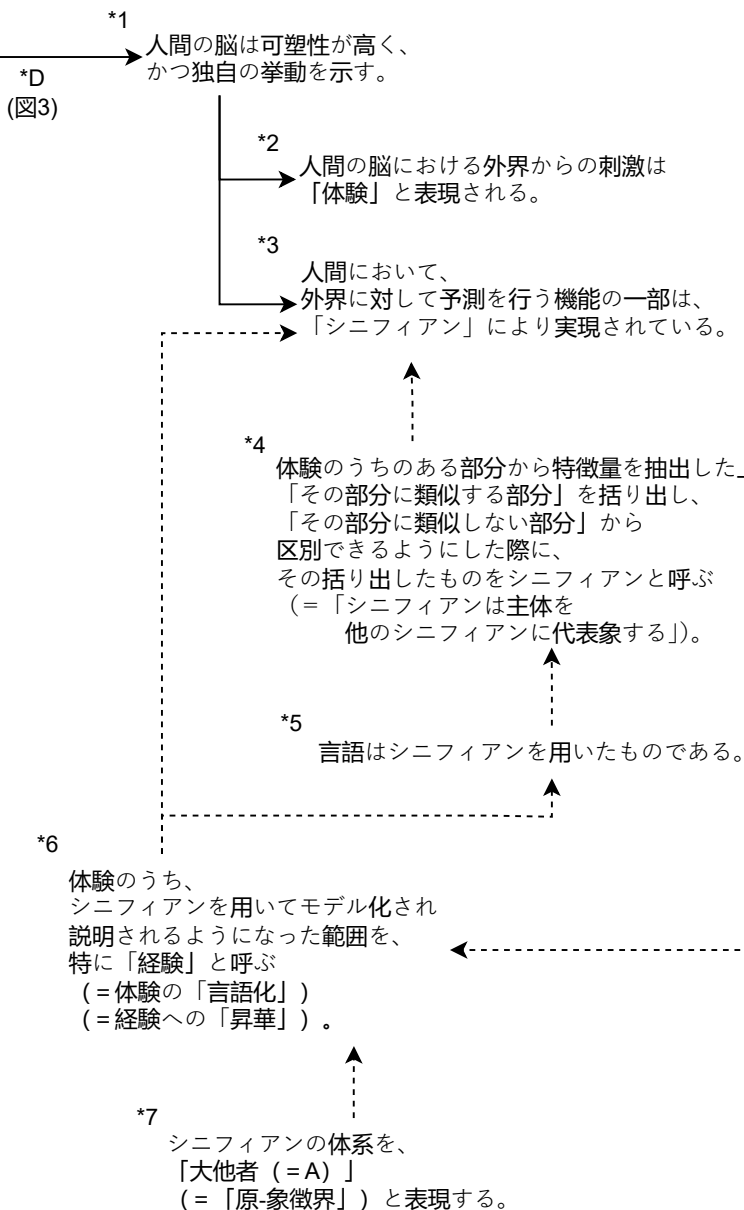


図4：体験とシニフィアン



*E
(図5)

*F
(図5)

*8
経験でモデル化された範囲が、
その人間にとっての「世界」である。

*9
世界は「リアリティ」と「自我」を含む。

*10
「自我」と「リアリティ」は
共に
・モデル内の仮象であり
・体験を秩序立てて予測する
ために構築されたもの
である。

*11
「自我」は、
体験の流れを引き受ける焦点
の役割を果たす。

*12
「リアリティ」は、
・体験の流れを発生させる場
・自我を内部に含む場
の役割を果たす。

*G
(図5)

*I
(図6)

*J
(結節点1)